

## 第 3 回

# 令和7年度使用播磨町教科用図書選定委員会

## 議 事 録

令和6年7月29日（月）

高砂市ユーアイ帆つとセンター

司会 : 先週に引き続き、播磨町教科用図書選定委員会規則第5条により、委員3名の出席がございましたので、ただ今から、第3回令和6年度播磨町教科用図書選定委員会を開催します。それでは、早速ですが、レジュメ2 協議事項にうつります。ここからの議事進行は委員長にお任せいたします。委員長、よろしくお願いいたします。

#### ⑨理科教科用図書の選定について

委員長 : 理科をお願いします。まず初めに東京書籍からお願いします。

委員長 : 全体的に QR コンテンツも多くていいかなと思います。10 ページの表ですが、面白く表記や説明がなされていて、生徒も興味がわくと思います。

委員 : イラストにも漫画やユニークなものが示されている。学習内容の整理、確かめ、活用とステップアップして見やすくまとまっています。

委員 : 2次元コードは教科横断的と言われていましたが、そう感じました。

委員 : 1年生の244ページからの実験機器の一覧や写真がすごくよく使われるというのがありましたが、字が少し小さいような感じがします。

委員 : クエスチョン・課題に対して予想・仮説があり、実験・観察があるという流れがしっかりとしている。最終的に考察・分析や解釈があって、まとめるような形になっている。教科書として主体的に学びあうような、または言語活動を促すような流れになっていると感じました。

委員 : 单元ごとにじっくり探求があって非常にいいなと感じています。

委員長 : 続いて大日本図書をお願いします。

委員 : 教科書のサイズや字が小さいですね。厚みもある。1年生には厳しいですね。

委員 : 一言で言うとオーソドックスな教科書というような感じでした。

委員 : 実験や観察など、ところどころにコツっていうのがあって、ポイントが表記されているので、子供たちにとってはわかりやすい。

委員 : 巻末に自由研究とかレポートの書き方など実用的なことに生かせるようなこと書

いてあったりする。

委員 : 例えば201ページの火山では、日本地図の中にいろんな活動が載っている。また202ページの噴火の様子などは非常にわかりやすいという感じはします。

委員 : 実験の説明的なところが絵で示してあり、写真とかの方がわかりやすいと感じました。

委員長 : 続いて学校図書です。ご意見をお願いします。

委員 : 他の教科書に比べたら進行の感じが違うかなと。高校のような感じでまとめられているような感じで、私はあんまり馴染みがないです。

委員長 : 実験などが探究としてまとめられていて、気づきから課題、仮説・計画・方法・結果・考察までまとまった流れになっていますね。

委員 : 各ページにQRコードが掲示されている。これが一つの特徴なのかなと思います。先生も選択してこれを使っていくような風な教科書になるのではと思います。

委員長 : デジタルコンテンツ一部見ましたが、音のみのものがありました。全てがどうか分かりませんが。いまいちのものもありました。

委員 : 理科が得意な人にはすごくいいのかなと思いました。色使いがやや暗いが落ち着いて勉強できそうな気がする。

委員長 : 続いて、教育出版をお願いします。

委員 : 全ての単元で探究の進め方がマーク化されて、課題をはっきりさせて深い学習ができるように感じました。確かな学力をつけるための5ステップがあります。中でも最後の要点と重要用語の整理が見やすいと思います。振り返りが章の最初に小中連携との関連も示されている教科書だと思いました。字もやや大きいのかな。

委員長 : 本文も見やすいといえば見やすい感じがします。

委員 : 逆に情報量が少ないかもいうことですね。3年生にとってはどうでしょうか。

委員 : ハローサイエンスがあって、他の教科の内容や、歴史が入っていて、なるほどと

というような内容が入っていました。

委員長：重要語句が太字だけではなくて色を変えてあり非常に見やすい。ユニバーサルデザインを意識したような配慮があるのかなと感じます。

委員：小中連携や、次年度への接続を意識した構成ですね。

委員長：続いて啓林館をお願いします。

委員：啓林館は実験などいろんな項目があるが、1ページ1ページが読みやすく見やすい感じがしました。文字の色とか配色、文字の大きさなどが工夫されていると思いました。

委員：例えば2年生の教科書で141ページに物質の成り立ちで、どら焼を大きく画面に書いている。すぐ身近なところから入っているので、面白い導入の仕方で工夫があると思いました。

委員：各実験に探究シートを入れており取り組みやすいかなと思います。振り返りが小学校の部分と、高校へ繋がられるよう工夫されているのかなと思いました。

委員：躍動感がある。それぞれの単元の写真の中で、例えば天ぶらの温度であるとか、競技場で化石など、何の石で作られているとか、身の回りの物質などから科学に触れている。

委員：やっぱり写真が綺麗。あと実験が多い中で、怪我に注意とかやけどに注意とか安全マークっていうのがついていて、生徒にやさしい教科書です。

委員長：探Q実習や探Qクラブなど、わかりやすくなっている感じはします。探求的に学べるような工夫がある。デジタルコンテンツも非常に充実している感じもします。何々ラボみたいな形でコラム的なものがあって、子どもたちの興味関心をそそるような内容がある。また学んだことを広げていこうというような感じも見受けられました。

委員：1年生の教科書、例えば232ページで力による現象でスポーツがあるが、野球のバットやアーチェリーにしても、子供にとって興味が出るのではと思います。

委員長：ガスバーナーなど、器具の使い方も非常に写真をうまく使いながらわかりやすく作られていると感じました。

#### ⑨数学教科用図書の選定について

委員長：それでは数学へ移りたいと思います。まず初めに東京書籍からお願いします。

委員：デジタルコンテンツが多く配置されていて、全て使うのは難しいかもしれませんが、復習や要所で使うことで効果的であると思いました。問題数もある程度確保されていて、やや多いぐらいで私はいいと思いました。巻末のもっと数学や欄外のクイックチェックという問題では、基本から発展的な問題まであって、個別最適な学びの実現に対応しており、深い学びに繋がる構成であると感じました。

委員：小学校からの移行、繋がりを大切にされた構成になっていると感じました。九九の表を取り上げるなど特徴的であると思いました。また、考えてみよう、調べてみようという授業の流れを段階的に示しているところもいいと思いました。

委員長：導入部分に生徒同士で話し合っただ様な考え方を交流できるような場面が設定されているので、子供たちの主体的・対話的な学びが実現できるような工夫があると思いました。この問題はこんなやり方ですというように教師主導的な授業の展開もあるかもしれませんが、生徒の気づきや発想を大切にしている気がしました。それから、問題にハートマークがついているところがありますが、苦手な生徒がハートマークの問題からおさえしていくことで、少しずつ理解できるよう配慮されていると感じました。さらに、デジタルコンテンツも豊富で、わからなかった部分を振り返ったり、個別で学習したりする際に効果的であると思いました。

委員：課題やめあてが明確で生徒が見通しをもって学習できる構成になっていると感じました。また、答えは1つであっても、生徒が多様な視点で課題解決に向かうことができる場面もしっかりと設定されていると思いました。

委員長：続いて大日本図書です。

委員：数学っぽくないというか、仕事の中の数学とか、数学を社会にリンクさせているのが切り口としておもしろいと思いました。数字ばかりが先行しないことも数学が苦手な生徒にとっては興味をもてる内容になっていると思います。

委員：学んだことを将来的にこんなふうにかかしていけるとか、そういう生活とか社会

との結びつきとかということが意識されているという感じがします。

委員 : おもしろさがある反面、問題数がやや少ないかなというところが気になりました。

委員長 : デジタルコンテンツも少ないです。

委員 : 読み物教材があったり、歴史が取り上げられていたり、日常生活の中に数学を感じるしかけがあり、身近な日常につなげ、広い視野から課題解決することができる場面が設定されていると感じました。

委員 : 「社会にリンク」や「活用・探究」のページ、巻末付録等でSDGsなどの今日的課題を取り上げていることも、生徒の興味・関心を高めることにつながると思います。

委員 : 確かに興味深い内容が多いが、難易度が高くなってしまい、授業の中での扱いが難しくなってしまうのではないかとということが気になりました。

委員長 : これからは生活であったり、職業であったり、社会とつながりのある学習が大事になってくるのではないかとこの気もします。身近なところに数学が入り込んでいるということに生徒が気付けばおもしろいのではないかと思います。

委員長 : それでは続いて、学校図書です。

委員 : 例えば3年生の教科書ですけれども、2次方程式が終わった後、あるいはその途中に計算問題として確かめようという教材があって、その次に計算力を高めようというのがあります。因数分解とか平方根、2次方程式といったところは計算ができなければいけないというものもあると思うので、計算のページがあるというのはいいと思いました。計算力の向上を大切にされた構成であると思います。それから、まとめの問題が基本、応用、活用と発展的な問題も掲載されており、ステップ式になっていて、問題数も手ごろであると感じました。さらに、新しい単元に入るときに導入でどれだけ生徒の興味をそそり、関心を高められるかということで現代的な課題と数学を結び付けて取り上げられているように思いました。

委員 : ノートの書き方、使い方という点で、例題等の解答例に罫線が引かれていることで、生徒にとってはわかりやすくなっていると感じました。デジタルコンテンツが少なく、もう少し充実していたらと感じました。

委員長：各章の導入では、既習内容から次の課題へ進む工夫がされていると感じました。  
ただ、ヒントがわかりやすく、ある程度授業の流れが固まってしまうのではというあたりはどうかかなと思いました。

委員長：続いて教育出版です。

委員：小学校の振り返りということで單元ごとや章末に小学何年生でどんな学習をしたのかということが記されていて、言葉の繋がりも取り上げられています。自分のつまずきを1年生のうちに整理できるよう配慮されていて、小学校の算数との系統がわかりやすく示されていて、既習事項との関連付けに活用できると思いました。

委員長：課題を目立たせていて、導入で生徒が興味を持って学習に臨めるよう工夫されていると感じました。また、思考を問う問題では、学びのプロセスとして、問題を掴んで、見通しを立て、解決して、話し合っ、振り返って、深めるという流れで構成されており、主体的・対話的で深い学びを意識した展開が示されていると感じました。

委員：数学の広場で「引く」と「マイナス」の違いを取り上げていて、小学校のときは引くしかなかった生徒にとってはいいと思いました。数学仕事人など読んでみると面白い内容が記載されていて、生徒が興味を持って読むのではないかと思います。

委員：授業の中では時間的な制限があるから、取り上げにくい内容もあるかもしれませんが、おもしろい構成ではあると思います。ただ、デジタルコンテンツの種類がやや少ないかなと思いました。

委員長：続いて啓林館です。お願いします。

委員：ユニバーサルデザインの観点から、文字間とか色使いとかがよくとても見やすい紙面になっていると思いました。また、導入部分で生徒にとって身近な事象を取り上げ、個々の気づきを話し合うような場面が設定されていて、数学のよさを実感し、生活や学習にいかしやすい内容になっていると感じました。

委員：問題数もしっかりと確保されていると思いました。問題の配列やバランスもよ

く、高校数学にもつながるような発展的内容の問題もあり、充実していると思いました。

委員長：とにかくデジタルコンテンツの質がいいと思いました。とてもわかりやすいです。例題を動画でわかりやすく説明しているのが、授業で理解しきれなかった生徒や、欠席者に対しての学びの補充ができると思います。

委員：2次方程式の解き方について、調査員の報告にありましたが、そのあたりは出版社によって考え方が違うものですか。

委員：数学教師によっても考え方はそれぞれかもしれません。どのアプローチが正解であるとかそういうことではないと思います。

委員長：それでは続いて数研出版です。

委員：この本の特徴は、新しい単元に入る前に振り返りがあることです。例えば1年生の3章96ページの1次方程式で、その前に振り返りとして文字式、等式が取り上げられていました。学習のめあてが明確で、授業がしやすいです。ただ、数学としての読み物教材が少ないなという感じがしました。章末についている「数学旅行」というのがそれに該当しているのかなと思いますが、その部分が他と比べてやや少ないと思いました。

委員長：確かにこの教科書は数学に特化した内容になっている印象があります。生活や社会に繋がっていくような内容があまり多くない気がしました。全くないわけではないのですが。

委員：最初の導入のところには少し取り上げられていますが、それぐらいしかないかもしれません。練習問題の量もやや少ない気がしました。

委員長：1年生は小学校で学習した内容との関連があって、2年生は1年生と関連した内容が同じように扱われていて、既習事項とのつながりを大切にし、系統を意識した学習への工夫があるように感じました。

委員：自分のつまづきを前の学習にもどって確認できるというのはこの教科書の良さであると思いました。イラストを活用した解き方のヒントが多くわかりやすいというのも感じましたが、自由な発想で解き方を探っていくということが難しく、授業者として賛否両論分かれる部分かもしれません。

委員長：それでは続いて日本文教出版です。お願いします

委員：「対話シート」がついており、協働的な学習につながり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫があると思いました。

委員長：この教科書もそれぞれの章の初めに「次の章を学ぶ前に」ということで、既習事項と次章をつなぐページがあって系統を意識した構成になっています。

委員：内容に無駄がなくシンプルにまとめられている感じがしました。ただ、全体のページ数が少なく、構成としてやや物足りない感じもしました。

委員長：重要な部分が色付けして強調されており、ポイントを押さえやすい紙面であると感じました。少し簡単というかやさしい感じがします。個々の考え方を共有し、議論していくような場面設定が難しい構成かなという気がしました。

#### ①保健体育科教科用図書の選定について

委員長：東京書籍です。

委員：本文中の資料がすぐに見られて授業が進めやすい。

委員長：ページ構成が見やすく、「課題を見つける」から見開き2ページずつ授業が進められるのではないのでしょうか。

委員：2次元コードが充実していて現代的な問題も取り扱っていました。

委員：P50,51の巻末資料が詳しく書いてあったり、口絵もSDGsなどわかりやすいです。

委員：各章末にまとめがあって、問題やワークシートがありました。

委員：ストレスに対するリラクゼーション法や心肺蘇生、手洗いの方法、マスクの付け方や熱中症への対処などスキルを身に付けていくページがありわかりやすいです。

委員：喫煙での受動喫煙の取り扱いや感染症での新型コロナウイルス感染症など内容について情報量が少ないと思います。

委員長：大日本です。

委員：イラストやカラー写真が多いのが特徴でした。

委員長：左ページが本文、右ページが資料の構成で統一されているので、見やすくわかりやすいと思います。

委員：学年や单元ごとに色別に区分されており、目次からも見やすいです。

委員：説明文章の内容がやや少なく感じます。

委員長：大修館です。

委員：写真とか資料、イラストが見やすい。本文も見やすいです。

委員：性の多様性や性的マイノリティなど現代的な内容の資料やコラムが多く分かりやすく解説していました。

委員：新型コロナウイルス感染症など最新の内容を取り扱っていました。

委員：各章にまとめ問題があり、各観点別に問題が出題されており、この教科書1冊で保健と体育の振り返りまで使うことができます。

委員長：確かにわかりやすいし情報もいっぱい詰まっています。例えば見直そう生活習慣ではスマホについて取り上げていたり、心と体の関りではストレスについても詳しく解説していました。

委員長：学研です。

委員：左上にウォームアップ（課題）があり、導入に使いやすいです。

委員長：イラストが多く、写真は少ないですね。字間や字体のせいかな文字が少し見にくいかな。

委員：逆にイラストが多いから分かりやすいかなと。

委員：ウォームアップやエクササイズなど教科書の至るところに学びを広げたり、深め

たりする問いかけがありました。

委員 : 各章末ごとや学年の振り返りがあります。

委員 : 章末資料が詳しく探求を意識した構成になっています。

#### ⑫美術科教科用図書の選定について

委員長 : 続いて美術です。まず、初めに開隆堂です。

委員 : 鮮やかな表紙に特徴がありますね。生徒が触って興味を持つことができます。

委員 : 鑑賞のポイントが明示されているので、知識として使えます。

委員 : 美術は鑑賞なども大事だと思いますが、知識という点では、この教科書は最後に使える知識ということでまとめています。

委員 : 単元シートや鑑賞シートなどのコンテンツがありました。

委員 : 2年生と3年生が合冊になっていて、全部で2冊ということですね。

委員長 : 発想・構想であったり、知識や技能などが、ぱっと見たときにどれが知識である、技能であるがわかりやすく記載されています。

委員 : 4ページ構成になっていますね。

委員 : 手だてとかがあまり書かれていません。自由に発想や構想を練る構成ですね。

委員 : 見開きワイドで記載されているページが今ほどの教科書にもある。インパクトがありますね。

委員 : おもちゃ作りのポイントが書いてあったり、学びの資料が付いていて授業で使いやすいのではないのでしょうか。

委員 : 学びの資料は1年生にも2・3年生にもあるが色分けされていますね。

委員 : 写真がきれいですね。

委員長 : では次は光村図書です。

委員 : 別紙、これは1冊の資料集としてという感じですね。

委員長：これは分かりやすい。刃物などを使うときは危ないので、きちっと書いてあるとか、手順なども分かりやすく書いてありました。

委員：光村の方が、ただ写真だけではなく、22ページのようにその人らしさをとらえるなど、着眼点や見方・考え方のポイントを示しています。

委員長：イラストなどの吹き出しで、例えば1年生の20ページ・21ページに「どんな音が聞こえるだろう」や「描かれている人物は何を話しているだろう」とか、ここから感じる発想などを学ばせる工夫があるように感じます。

委員：例えば44ページの「写真を撮る楽しさ」は横にコンテンツで、全国の生徒の作品を見てみようなど資料的なものもあるし、使っている写真も面白いです。子どもたちはイメージしやすいのではないのでしょうか。

委員：鋭い視点で写真や資料が選ばれている。吹き出しで、「この写真はどのような視点で撮影されたらう」など問題提起としていいと思う。

委員長：2年生・3年生の43ページにゴッホの写真、両サイドに浮世絵があるが、つながりがあることがわかりやすいです。

委員：ゴッホはすごく浮世絵から影響されているということですね。この浮世絵の紙は材質が違う。和紙っぽい。時代とか浮世絵とか、普通の写真よりイメージがわかりやすいです。

委員：写真なども新しい感じがして共感もてます。

委員長：写真とかの大小もうまく使っていますね。

委員：「最後の晚餐」なども大きくて印象的です。

委員長：では続いて日本文教出版をお願いします。

委員：日本文教出版は、2・3年が別冊になっている、上下という形で。これはこの会社の特徴かな。何か思いがあるのかな。

委員：表現のヒントが書いてあるので分かりやすい。こういう風に描いたらいいんだねと。

委員：二次元コードもいろんなところに配置されていました。

委員長：作者の言葉が入っている。作品をただ見るのではなく、作者に関連した内容が記載されていました。

委員：資料のまとめが教科書の一番後ろに帯で示されています。

委員：1年生の56・57ページの縄文式土器かな、これは実寸大で掲載されているのも面白いです。

委員長：デジタルコンテンツで見たら、360°回転しました。

委員：浮世絵づくりの職人の話なども興味深いです。

委員：子どもの学習の広がりにつながりますね。

委員：表現のヒントやちょい書き足しなど、子どもには優しいつくりをしています。

委員：学びやすいかもしれないですね。

### ⑬技術家庭科（技術分野）教科用図書の選定について

委員長：東京書籍からお願いします。

委員：技術分野、家庭科もあると思うけど、ガイダンスのページがありますね。

委員：生徒の学びにとっていいと思います。

委員：東書は单元ごとに学習の流れ、例えば30ページ開けてもらったなら学習の流れが意外とわかりやすい。目標、学習課題が書いてあって、調べてみようがある。その次に技術の扉木材の特性、金属の特性が書いてあり、木材、金属、プラスチックの特性が分かりやすい、また教えやすい教科書だと思います。

委員長：Tech Labというページがあり、非常に見やすいと思います。左と右側のページで一つまとまりがあるので。

委員：色分けもしているし、問題の発見と課題の設定、問題解決の例とか、問題解決に対してこういうふうにやっついこうっていうのは手順がわかりやすいですね。

委員：情報モラル関係が充実しており非常に丁寧ですね。イラストも見やすいです。

委員：関連して、222ページで技術のプログラミングの特集ページがあります。双方向

性のあるコンテンツもありますね。

委員 : デジタルコンテンツが豊富にありますね。プログラミングについても丁寧に書いてある。

委員 : 章の最後の方に、問題解決例が提示してある。問題解決例は、意外と日常的なことの設定がしてあることが多いですね。

委員 : 日常生活的な問題解決が書いてあると思います。イラストで説明してあって、SDGs への繋がりが書いてあったりするのでもいいのではないのでしょうか。

委員 : 先生にとっても面白いと思います。

委員長 : 次は、教育図書ですね。

委員 : 別冊がついていますね。スキルアシスト。1～3年生で色分けして合ってわかりやすいです。

委員 : これは作業するときに取り出しやすいです。

委員 : Aにも1章・2章・3章、Bにも1章・2章・3章、それぞれ発展的に系統的にできるようになっていきます。

委員 : 例えば56ページではすごく具体的に表や写真があります。

委員長 : 別冊の中に安全面の配慮が赤で強調されています。そういうところもいいかなと思います。

委員 : やはり技術は安全が大事ですね。

委員長 : 写真、綺麗ですよ。作業工程が分かりやすいです。

委員 : 色合いが視覚的に非常にわかりやすいと思います。

委員 : 例えばメロンの栽培のところで、写真にインパクトがあるかな。

委員 : 情報の技術の導入のところで、神戸の手術支援ロボットは地元神戸という感じがすね。富岳もですが。

委員 : 生徒も近隣の内容が載ったら興味を持てると思います。

委員長：次に開隆堂ですね。

委員：これは本当にキャリア教育に結びつけるようにされていますね。実践的・体験的な活動を重視していると感じました。

委員：ミニトマトの栽培では学習の流れが書いてあって、小学校や他教科との繋がりがあある。見方・考え方が分かりやすいです。

委員：導入が詳しい。クロマグロやシャインマスカットなど、導入のページにすごく特色・特徴がある。木工加工の撤去とか、角がたくさんある消しゴムとか。なんか面白い導入ですね。

委員：材料を利用するための技術として、いろいろやってみようとかルールとか、作業工程など、構成的には面白いかなと思います。

委員：字が多いから読んで理解しなければならないですね。

委員：見て学ぶほうがわかりやすいかな。

委員：開隆堂は様式2の評価は高いですね。

委員：開隆堂の教科書は説明が詳細でよくまとまっていると思います。

委員：育成計画も面白いと思います。発展的な学習・主体的な学習につながりやすいです。

#### ⑭技術家庭科（家庭分野）教科用図書の選定について

委員長：続いて家庭いきます。

委員長：それでは、東京書籍をお願いします。

委員：写真やイラストが鮮やかでわかりやすかったです。

委員：結構調理例とか方法がわかりやすいと思います。

委員：調理実習の提示はたくさんあるけれど、先生が、本の中のひとつ選ぶのですか。

委員：全部ではないと思います。

委員：ハンバーグなどは調理実習でやれば、家でもう1回やってみたく感じる感じですね。

委員 : 技術でもあったが、初めにガイダンスがあって、何か記入する所があったと思います。自分でメモするような部分があり、活用できると思います。

委員 : 章末問題学習のまとめいうところで、知識や思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む学習が網羅されていました。

委員 : 導入のページでは写真がたくさん載っていて、小学校の家庭科ではどんなことを勉強したかわかります。

委員 : 学習のまとめとか問題が入っていたり、実習例で何かちょっと違うカレーに挑戦しようとか、ちょっとやってみたいなというような内容が入っています。

委員 : 消費者教育とか、206 ページの資料が分かりやすいです。

委員 : ページのリンク方法などの工夫があります。

委員 : 他の出版社にもあるかもしれないが、日本の各地の郷土料理を載せていたり、自分は意外と興味を持ちました。こんな料理があったのかとか、全然知らないことが多かったです。

委員 : 肉じゃがから始まって、いろいろ料理が出てくるが、写真もワイドで美味しそうに見えます。

委員 : お魚の調理など、選択肢が示されていて、朝食作りに挑戦しようなども自分でやってみようというような気持ちにさせる教科書かなと思います。

委員 : 資料的なところは字が小さく情報量が多いです。

委員 : 災害に備えるとか、キャリア教育、働く人の説明が良いと思います。

委員長 : 消費者トラブルとのその対策が7 ページにわたって取り上げています。中学校でも消費者教育の講演会をすると思いますが、大事だと思います。

委員 : ワークショップや、日本の被服に関する記事も載っています。

委員長 : 教育図書です。

委員 : 写真もイラストも綺麗で豊富です。解説文は少ないかなと思います。

委員 : 詳しく資料が載っている。エネルギー量とか、廃棄率とか、すごいなと思いました。

委員 : ここも社会人のページがあって、和菓子職人に聞いてみようという、そういう人の話を聞く、そういう人の本を読んでもらうというのが将来のきっかけにもなると思います。

委員 : 現代の日本の暮らしが分かりやすい内容ですね。

委員 : 対話的な学習には向いているのではないのでしょうか。

委員 : 重要語句の色付けなどに工夫があるように感じます。

委員長 : それでは最後に開隆堂になります。

委員 : 目標は自立と共生のような気がするので、それに基づいて自分のものを補修するとか、収納とか保管とか、テーマの最初に出てくる言葉の使い方はちょっと違うかなと思っています。

委員 : 写真見開きの写真も大きくていいですね。

委員 : 二次元コードはどこから入っても全単元につながっていました。

委員 : 持続可能な社会に向けて SDGs の内容はいいと思います。

委員 : ヤングケアラーの話題があります。

委員 : 先輩から見えるもの。この写真の使い方もそれぞれ違いますね。

委員 : 兵庫県についても取り扱っていますね。

#### ⑮外国語科教科用図書を選定について

委員長 : 東京書籍です。

委員 : 1年生の教科書で導入が丁寧です。6ページから70ページくらいまで小学校のつながりがあります。小学校で学んだものには小学校のマークがあります。QRコードもよく掲載されており充実しています。

委員長 : 小中連携という意味では非常に連携しやすいのかなと思います。現在、小学校では東書が使われています。

委員 : 発達段階でどんどん内容は難しくなっています。

委員長：Word Room というページがあり、数や色、曜日など、またページめくると、食べ物、果物、動物などいろいろなジャンルごとに英語が書いています。この単語等を見ながら答えるなど非常に役に立つという感じがします。

委員：発達段階でどんどん語彙数が増え、内容は難しくなっていて、身近なことから世界へ目を向けるような構成になっています。Sounds and Letters も1年生時は単語ですが、だんだんと文へなっています。

委員：歌で学ぶという先生もいらっしゃったけど、歌もたくさん入っていて親近感もわきます。

委員長：次に開隆堂です。

委員：物語風ですね。

委員長：物語で色々な人物が登場します。私の時は文字から入ることが多かったのですが、とても分かりやすいです。「英語の早わかり」のページが各単元のまとめとありますが、このページが最初の導入ページとリンクしており、理解もしやすくなっています。

委員：新出の文法事項が各本文に散りばめられていますが、それをまとめのページで文法がまとめられています。

委員：小学校で学んだ単語が下に書いてあり分かりやすいです。イラストや写真もたくさんあり、見やすいです。

委員：Scene の部分が一番初めにきて、その後にそのシーンごとに Part1・Part2・PartIII があり、その後に Review があります。その後 Action、そして英語の早わかり文法項目がまとめとしてあり、まとまりがいいです。時々、話題性がある内容も含まれています。読むこと、聞くこと、話すこと、書くことが培われるのかなと思います。

委員長：三省堂です。

委員：これも多くの登場人物が登場します。

委員：各ページに New Words があり、使いやすいです。

委員 : 作り方が丁寧です。

委員 : 段階をしっかりと踏みながら作られているので、学習者にとって負担が少ないです。

委員 : Language Focus で文法事項をそれぞれまとめているので分かりやすいです。

委員 : My Dictionary はチェック項目があり、確認しやすいかと思います。

委員長 : 全ての単元の始まりがトークなどで始まりとっかかりにいいと思います。まず触れてみて、聞いてみて、そして話すという流れです。

委員 : 三年生では文章は増えていますが、あまりびっくりするような感じではないですね。

委員長 : 教育出版社です。

委員 : 小学校の復習では、アルファベットの形を確かめや、曜日関係などがあります。

委員 : 英語はこの部分は充実してるのが多いですね。動画なしの二次元コードですね。

委員 : Be 動詞と一般動詞が混在しているため、教える側からしたら混乱します。

委員長 : 教科書の構成がやや雑というか。

委員 : 子供が興味を持ちそうなものを英文で読めるのはとても楽しそうです。

委員 : それぞれに読む、話す、聞くの Tips (手がかり・ヒント) があるのが、この本の特徴ですね。

委員長 : 光村図書です。

委員 : アクティブグラマーでまとめてあり、それぞれのところに聞くのと話すとかがありますね。学びやすいと思います。

委員長 : 何をするのが分かりやすいです。「英語の学び方」のページで、リスニングの学び方やリーディングの学び方、スピーキング、ライティングとありますが、本当にわかりやすいです。

委員 : 導入の仕方も 1 年生は結構わかりやすく、実用性があります。

委員：左側が本文で、右側がまとめのページの構成で、3年間、基本的にその構成になっています。

委員長：最後は啓林館です。

委員：ちょっと字が小さいです。

委員長：左側本文で右側にまとめのページです。Listenなどの色が一緒やから、見にくいです。

委員：イラストだけじゃなくて、例えば大谷翔平とか新しい人も入っていますね。

委員：大切なことは下のTargetにまとめています。いわゆるパートの大事な部分はこれですよということです。昔で言うとおそらくこういうのが一番上にありました。

委員：文字が多いですね。

#### ⑩特別の教科道徳教科用図書の選定について

委員長：それでは道徳お願いします。まず東京書籍からお願いします。

東京書籍は本文の中につぶやきがあって、子どもたちが気が付いたことや感じたことをメモして、話し合いなどに使ったりすることで広がっていく感じですよ。

委員：いじめとか命を考えるといったユニットが多いです。多面的な考え方を養うことができます。

委員長：ワークシートがあるものも多いです。

委員長：1年生の67ページなど、本の紹介などもありました。

委員：防災のところなどでは、あなたの取るべき行動はなどがあります。

委員長：写真やイラストなどからいじめにつながるようなことを見つけるといったページがあっいいです。

委員：いじめでは風評被害なども載っています。NHKのドキュメントなども。

委員：デジタルコンテンツは豊富ですね。

委員長：では教育出版です。

委員長：この教科書はいじめや命以外にもつながりあって生きているというユニットがありました。

委員：漫画やイラスト、絵本が出てくるなど、読むことの負担を軽減して、全員が話し合いに参加できる工夫があります。

委員：学びの道しるべがあります。主体的・対話的な発問が多くあります。

委員長：学びの道しるべは道徳以外でもありました。

委員：いままで道徳ノートを買ったりしていましたが、振り返ろうというシートがあります。

委員長：2年生の128ページ、金の斧の話がありますね。その話のその後が書いてあって面白い。

委員：小学校で学んだ時との違いを感じるのでしょうか。

委員：定番教材が多いと感じます。小学校で学んだものを中学校でもう一回見てみようとか。

委員長：3年生の82ページの「つぐない」、歌の歌詞が書いてあって、昔私もやったなあと思ったりしました。

委員：藤井聡太さんも出てきましたね。

委員長：ではつづいて光村図書です。

委員：1年生の教科書38や39ページで、違いを知ったり、人の意見を聞いたりという内容があって面白いかなと。深める学習につながると思います。どの教科書でもあるとは思いますが。

委員：23ページでは漫画がありますが、これもいいと思いました。

委員：この教科書はハートが1個だったり2個だったり、3個だったりします。例えば28ページではハートが2つ、これは何かなと思ってみたら「人とのかかわり」に関することと書いてある。ただ読み物教材として読むだけではなく、揺さぶり

をかける工夫としてはいいかなと感じました。

委員：ハートの数などについては2ページに書いてある。道徳の観点に関することで。  
例えば自分自身に関することは青いハート一つなどです。

委員長：22観点の内容項目とかですね。

委員：その分をバランスよく配置しているということですね。

委員：いろいろな教材があります。

委員：例えば70ページの「裏庭での出来事」、「銀色のシャープペンシル」など、いわゆる道徳の定番教材、新しい教材もあるだろうけれど、昔からの教材を復活させて使っていくというのは、ある意味でいいことだと思います。

委員長：では日本文教出版をお願いします。

委員：実際の学年の生活に合わせて書いてある。どこの出版社もかもしれませんが。

委員：これはノートがあるのかな。

委員長：ノートがありますね。

委員：前回ノートは何社かあったと思いますが、なくなってきていますね。

委員：使いやすい、使いにくいはあると思いますね。

委員：この教科書もユニットに分かれています。

委員長：結構いじめの内容が多いですね。

委員：漫画で入っているページが結構ある。

委員長：今の子供たちは、こういう風に漫画とかの方が話し合いとかに入りやすい。

委員長：88ページに学びを深めようがあります。「事例のア・イについて、あなたならAさん・Bさんの立場でどうしますか。」など、立場によって考えることができます。

委員長：では、学研です。

委員 : これもワイドな教科書ですね。

委員 : 目次を見ても分かるように、深めよう・クローズアップなどが結構多い。ここがポイントだと示されているので使いやすいのでは。このクローズアップ・深めようがこの教科書の特徴だと思います。

委員 : 題名の下に興味関心をもたせるような一言が書いてある。導入の写真は生徒の興味を引きやすそうです。

委員 : ユニット学習の1年生では、持続可能な社会や未来に向かってなどがある。導入のところでは、2ページにわたって写真が入っている。

委員 : 2年生の142ページでは群青が出ている。またそれにまつわることが書いてある。いろんな教材があってよい。

委員 : クローズアップはその教材の補足説明がしてある。

委員 : 教材が多彩で、多面的な見方・考え方ができるよう工夫されています。

委員長 : ではつづいてあかつき教育図書です。

委員 : この教科書もちゃんとユニットに分かれている。二次元コードもはっきりと示されているし、学びやすいし扱いやすい。例えば4ページなどはいろんなテーマから学ぶ、いじめや生命の大切さや国際理解、キャリアとか。

委員 : 1年生の教科書の一番初めの道徳の始まりの時間、この教材をここに配置したのは、本当に道徳が始まる感じがする。

委員 : 写真やイラストなど、紙面は読みやすい。

委員 : 2年生などで、歩きスマホしていませんかや依存度チェックなどがある。実際にグラフで考察してみたりしている。依存度チェックなど、今実際に中学生が悩んでいることをみんなで考えてみましょうという感じでいいのかなと思います。

委員 : 読み物教材など、担任の先生方はなじみがあるものが多い。生徒の心を揺さぶり感動を与えやすい。

委員長 : マイナス、長い読み物が苦手な生徒も、このぐらいの長さであれば理解しやすいのかなと思います。様々な視点で学習することができる内容になっています。

委員長：では日本教科書です。

委員長：前から順番になっているので、価値項目が分かってしまっています。

委員：イラストがやや怖く感じました。

委員長：1年生の6ページのウェルビーイングカードなどは今風で、話し合い活動に使えるかなと思います。

委員：この教科書は話が短いものが多いですね。1ページで終わるものも多くある。あまり長かったら本読みで終わってしまう。心を揺さぶろうと思ったら、長くても10分はかからないものの方が。読み取りになってしまうから。国語の授業ではないので。

委員長：この教科書は見やすいですが、空白欄が多いですね。

委員長：他に、全体を通して、ご意見はございませんか。

#### 【意見なし】

委員長：それでは、「播磨町教科用図書選定委員会報告書の作成について」事務局お願いいたします。

事務局：今後の日程及び公表についてですが、2日間にわたってご協議いただきました結果を選定報告書にまとめ、8月9日に開催されます播磨町教育委員会に提出いたします。播磨町教育委員会におきましては、この報告を参考に、採択を行います。そして、8月31日までに、採択報告書を県教育委員会に提出することになります。

続いて、今回の採択結果や理由、選定委員会議事録、調査報告書などの、採択に関連する資料等の公表につきましては、規則第7条、また、選定委員名の公表につきましては、規則の第8条に基づき、採択期間終了の9月1日以降に行います。

以上です。

司会　：以上の説明につきまして、ご質問ございませんか。

【質問なし】

司会　：委員の皆様方、ご協議本当にありがとうございました。

以上をもちまして、第3回令和6年度播磨町教科用図書選定委員会を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

(17:30閉会)